

大月・都留地域
循環型社会形成推進地域計画

大月都留広域事務組合

大月市

都留市

平成22年 9月 8日

改訂 平成23年 1月11日

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

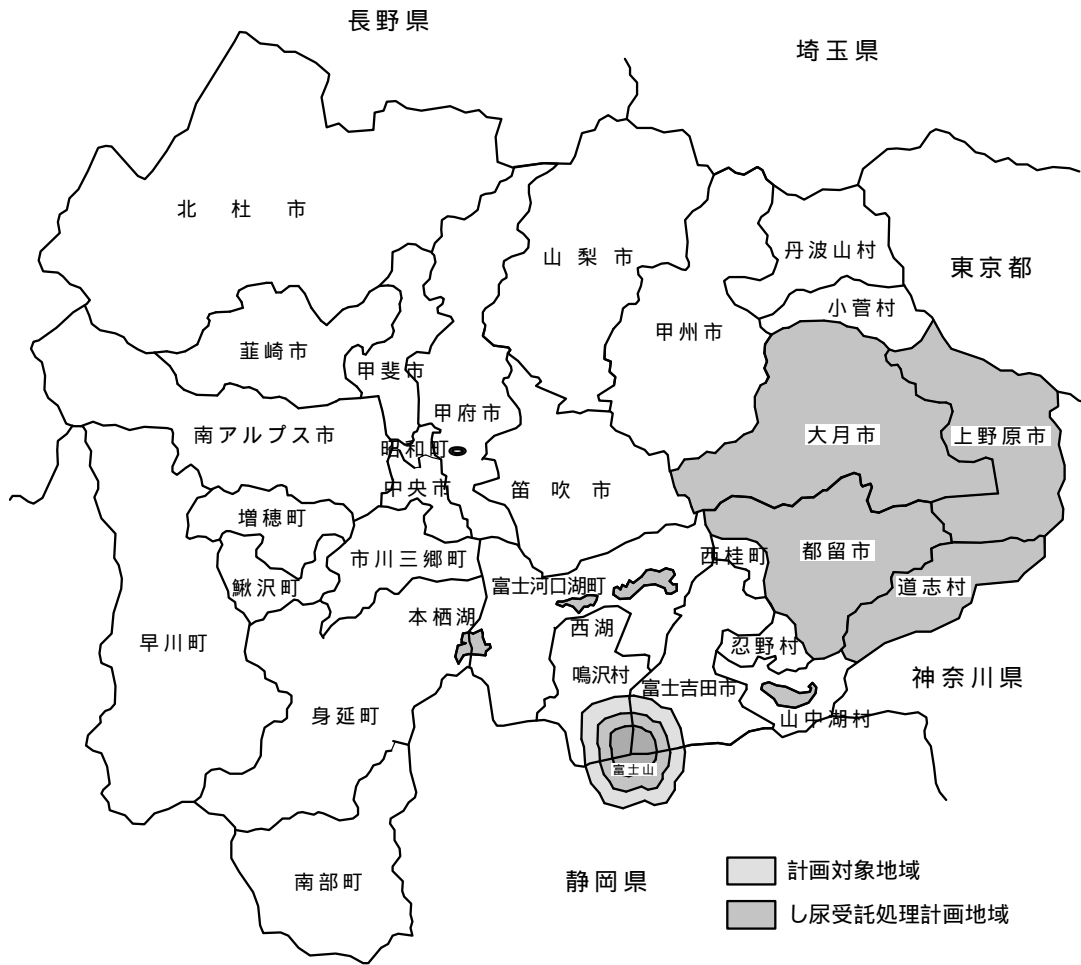
組合構成市の次の各市とする。

大月市

都留市

面積	441.88km ²		
(内訳)	大月市	280.30km ²	
	都留市	161.58km ²	

人口	60,858人(平成22年3月31日現在)		
(内訳)	大月市	28,911人	
	都留市	31,947人	



[図-1] 対象地域図

(2) 計画期間

本計画は、平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。

なお、目標達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

対象地域は、山梨県東部に位置し、都心から 100km 圏内にある。

周囲を御坂山脈、関東山地、道志山地に囲まれた、自然豊かな環境にあり、地域の中心部を西から東へ相模川水系の桂川が流れており、中小の河川もすべて桂川の支流である。この水系は、神奈川県各市の水道水源となっており、水質の保全が強く望まれている。

本地域では、人と自然の共生と、これからの地球環境問題を視野に入れた資源循環型社会の構築を目指している。

一般廃棄物の処理においては、平成 20 年度に一般廃棄物処理基本計画を策定し、各施策の展開を図っているところである。

ごみ処理は、平成 15 年 3 月に竣工した「まるたの森クリーンセンター」(ごみ焼却施設、リサイクルプラザ)で適正な処理を行っている。

生活排水処理は、桂川流域下水道関連の公共下水道の整備を中心に進めているが、平成 20 年度に策定した生活排水処理基本計画で予測している下水道水洗化人口は、平成 30 年度で 20.9%に留まっており、未整備地域も多く残る。それらの地域から排出されるし尿及び浄化槽汚泥は、組合のし尿処理施設(昭和 61 年度竣工)で処理されているが、稼働開始から 23 年を経過し、老朽化が進んでおり、施設の更新が急務となっている。

このような状況から、本計画を策定し、し尿処理施設においても汚泥再生処理センターとして施設を更新し、資源循環型社会の形成の一翼を担うとともに、近隣の自治体の処理を受託して、広域化による処理の効率化を図るものである。

(4) 広域化の検討状況

本組合は、昭和 40 年より大月市及び都留市の一般廃棄物とし尿等の広域処理を行っているが、し尿等については、上野原市、道志村から発生するし尿等を併せて処理する予定であり、さらなる広域化を推進することとしている。

道志村分については、その一部を昭和 59 年度から本組合し尿処理施設で受託処理を行っており、新施設稼働後は、全量を受託処理する予定である。

また、上野原市については、三市（大月市、都留市、上野原市）の市長がし尿等の広域処理について基本合意し、新聞等にも公表されている。

現在、広域処理の形態の詳細について検討しているところであるが、当面は上野原市、道志村の組合加入という形ではなく、受託処理の方向で進んでおり、12月中の受託契約締結を予定している。

（受託処理対象地域）

受託処理の対象地域の諸元は次のとおりである。

上野原市

道志村

面積	250.22km ²		
	（内訳）	上野原市	170.65km ²
		道志村	79.57km ²
人口	28,890人（平成22年3月31日現在）		
	（内訳）	上野原市	26,923人
		道志村	1,967人

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

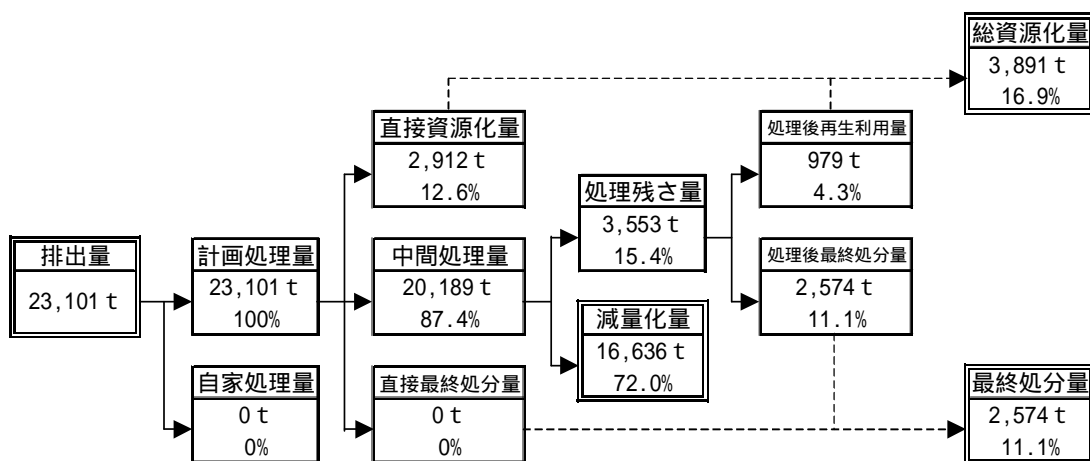
(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 19 年度の一般廃棄物の排出・処理状況は、[図-2] に示すとおりである。

総排出量は、23,101 t /年度であり、再生利用されている総資源化量は 3,891 t /年度、リサイクル率(= (直接資源化量 + 中間処理後の再生利用量) / (ごみの総処理量)) は 16.9 パーセントである。

中間処理(焼却、破碎選別等) による減量化量は 16,636 t /年度であり、排出量の 7 割以上は減量化されている。

最終処分量は、2,574 t /年度であり、11.1 パーセントが埋め立て処分されている。



[図-2] 一般廃棄物の処理の現状 (平成 19 年度)

(2) 生活排水処理の現状

ア. 全体

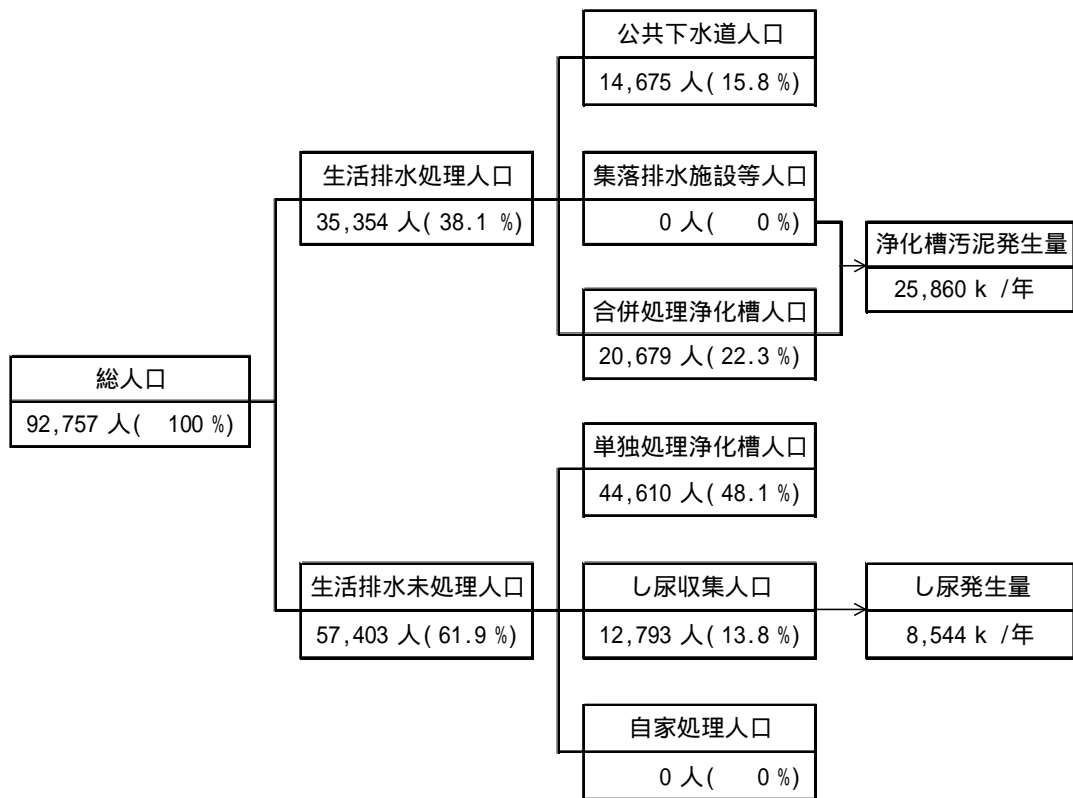
平成 19 年度の生活排水処理の状況及びし尿・汚泥等の排出量は、[図-3] に示すとおりである。

生活排水処理対象人口は、受託処理を行う上野原市、道志村を含めた対象地域全体で 92,757 人である。

生活排水処理人口は、下水道水洗化人口と合併処理浄化槽人口を合わせて 35,354 人であり、生活排水処理率は 38.1% である。

し尿発生量は 8,544k /年で、浄化槽汚泥発生量は 25,860k /年であり、処理・処分量は 34,404k /年である。

排出される汚泥は 1,752 t /年であり、委託で場外搬出処分している。



[図-3] 生活排水処理の現況 (平成 19 年度末)

注) 上野原市、道志村を含む

イ．大月市

平成 19 年度の生活排水処理の状況及びし尿・汚泥等の排出量は、(図 - 2 - 1)に示すとおりである。

生活排水処理対象人口は、30,100人であり、生活排水処理人口は、下水道水洗化人口と合併処理浄化槽人口を合わせて9,076人であり、生活排水処理率は30.1%である。

し尿発生量は1,573k /年で、浄化槽汚泥発生量は9,734k /年であり、処理・処分量は11,307k /年である。

し尿・汚泥の処理については、大月都留広域事務組合において処理している。



(図 - 3 - 1)生活排水処理の現況(平成 19 年度末) 大月市

(3) 一般廃棄物の処理の目標

一般廃棄物処理基本計画(平成 20 年度策定)における一般廃棄物等の目標を基に、本計画においては一般廃棄物の排出量・再生利用量等について[表-1]に示すとおり目標値を定め、各々の施策を推進していくものとする。

[表-1] 一般廃棄物の減量化・資源化の目標

指 標		現状 (割合 ¹) 平成19年度	目標 (割合 ¹) 平成27年度
排出量	事業系 総排出量	3,985 トン	3,224 トン(-19.1%)
	1事業所当たりの排出量 ²	1.04 トン/事業所	0.90 トン/事業所(-13.5%)
	家庭系 総排出量	19,116 トン	17,989 トン(-5.9%)
	1人当たりの排出量 ³	248 kg/人	245 kg/人(-1.2%)
合 計 事業系家庭系排出量合計		23,101 トン	21,213 トン(-8.2%)
再生利用量	直接資源化量	2,912 トン(12.6%)	2,986 トン(14.1%)
	総資源化量	3,891 トン(16.8%)	5,712 トン(26.9%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	- MWh	- MWh
減量化量	中間処理による減量化量	16,636 トン(72%)	13,512 トン(63.7%)
最終処分量	埋立最終処分量	2,574 トン(11.1%)	1,989 トン(9.4%)

- 1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合
 2 (1事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / (事業所数)
 3 (1人当たりの排出量) = { (家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

指標の定義

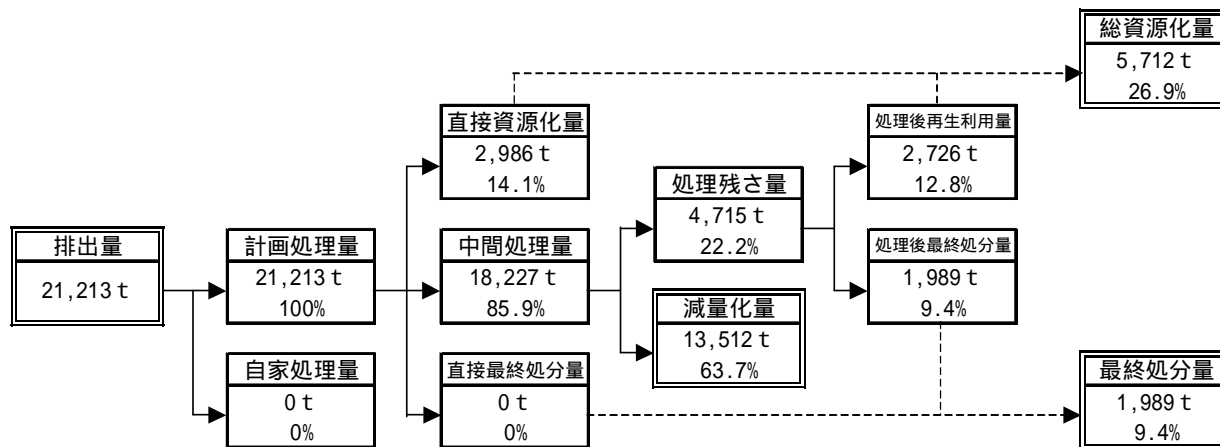
排出量 : 事業系ごみ、家庭系ごみを問わず、出されたごみの量 [単位: トン]

再生利用量 : 直接資源化量、中間処理後の再生利用量 [単位: トン]

熱回収量 : 熱回収施設において発電された年間の発電電力 [単位: MWh]

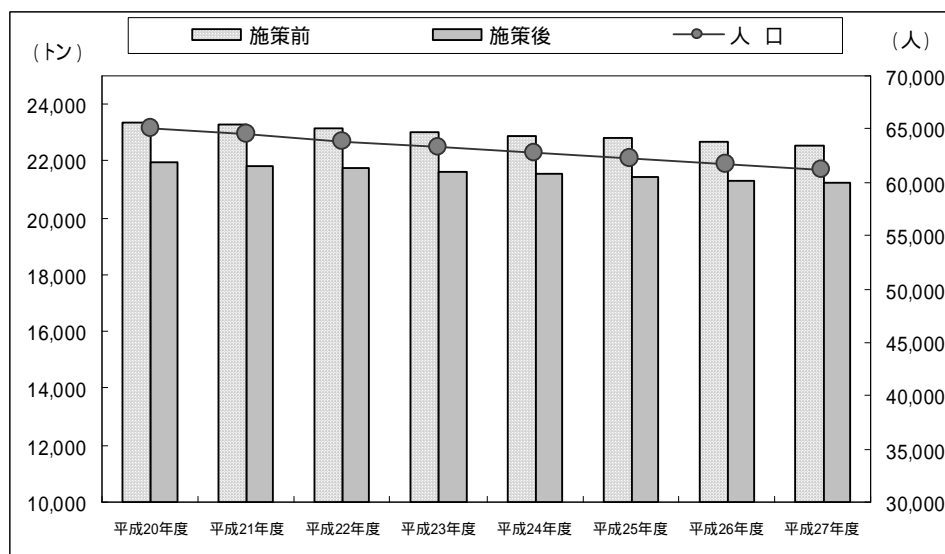
減量化量 : 中間処理と処理後の残さの差 [単位: トン]

最終処分量 : 埋立処分された量 [単位: トン]



[図-4] 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー (平成27年度)

[グラフ-1] 施策実施前後における排出量の比較



(4) 生活排水処理の目標

生活排水処理は[表-2]のとおり目標を定め、公共下水道の整備を進める。また、その他の地域については、合併処理浄化槽の設置により、生活排水処理を進める。

ア．全体

[表-2] 生活排水処理に関する現状と目標

		平成19年度	平成27年度
処理形態別人口	公共下水道人口	14,675人(15.8%)	20,696人(24.5%)
	集落排水施設等人口	0人(0%)	0人(0%)
	合併処理浄化槽人口	20,679人(22.3%)	19,131人(22.6%)
	未処理人口	57,403人(61.9%)	44,714人(52.9%)
	合計	92,757人(100%)	84,541人(100%)
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	8,544k/年	5,840k/年
	浄化槽汚泥量	25,860k/年	24,857k/年
	合計	34,404k/年	30,697k/年

注) 上野原市、道志村を含む

イ．大月市

生活排水処理は(表 - 2 - 1)のとおり目標を定め、公共下水道の整備を進める。また、その他の地域については、合併処理浄化槽の設置により、生活排水処理を進める。

(表 - 2 - 1)生活排水処理に関する現状と目標

		平成19年度	平成27年度
処理形態別人口	公共下水道人口	2,328 (7.7 %)	4,520 (16.6 %)
	集落排水施設等人口	0 (0.0 %)	0 (0.0 %)
	合併処理浄化槽人口	6,748 (22.4 %)	5,519 (20.3 %)
	未処理人口	21,024 (69.9 %)	17,195 (63.1 %)
	合計	30,100 (100.0 %)	27,234 (100.0 %)
し尿汚泥の量	汲み取りし尿量	1,573 k / 年	1,350 k / 年
	浄化槽汚泥量	9,734 k / 年	8,322 k / 年
	合計	11,307 k / 年	9,672 k / 年

3．施策の内容

(1) 発生抑制・再利用の推進

ア．ごみ処理の有料化等に関して

ごみ処理の有料化等の検討及び検証を行い、ごみ処理の公平性や環境問題意識の向上を図る。

イ．環境教育に関して

社会科授業に組み入れる等を行い、学校教育における視察見学会等による体験を通して、ごみ問題の啓発を図る。

学習教材の作成、リサイクルモデル校の指定を検討する。

環境をテーマとした生涯学習の推進を図る。

ウ．普及啓発に関して

排出者の意識啓発を有効に行うために、情報拠点（公共施設に情報コーナーを設ける等）の整備の検討を行う。

フリーマーケット、不用品交換バザー等のイベントを通じて、排出者の意識啓発を行う。

「リサイクル推進の店」認定等への選奨制度を図る。

エ．助成に関して

コンポスト容器等への補助制度の充実を図る。

(2) 処理体制

ア．家庭系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、[表-3]のとおりである。

本組合では、民間の最終処分場を使用しており、最終処分量の削減を推進し処分場の延命化が重要であることから、一層のごみの減量化及び再資源化の推進に取り組んでいる。

[表-3] 一般廃棄物の分別区分と処理方法の現状と今後

現 状（平成19年度）				今 後（平成27年度）							
分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)	分別区分		
						一次処理	二次処理				
可燃ごみ	焼却	まるたの森 クリーンセンター ごみ処理施設	17,999	可燃ごみ	焼却	まるたの森 クリーンセンター ごみ処理施設	(溶融灰) 最終処 分委託	16,066	可燃ごみ		
不燃ごみ	破碎・選別	まるたの森 クリーンセンター リサイクルプラザ	1,083	不燃ごみ	破碎・選別	資源化	まるたの森 クリーンセンター リサイクルプラザ	1,017	不燃ごみ		
粗大ごみ	破碎・選別	まるたの森 クリーンセンター リサイクルプラザ	1,107	粗大ごみ	破碎・選別	資源化	まるたの森 クリーンセンター リサイクルプラザ	1,144	粗大ごみ		
再 資 源 化 物	飲料用缶	まるたの森 クリーンセンター リサイクルプラザ	132	再 資 源 化 物	飲料用缶	リサイクル	資源化	まるたの森 クリーンセンター リサイクルプラザ	売却	2,986	飲料用缶
	飲料用ビン		215		飲料用ビン						
	ペット ボトル		108		ペット ボトル						
	牛乳パック	まるたの森 クリーンセンター ストックヤード	13		牛乳パック	リサイクル	資源化	まるたの森 クリーンセンター ストックヤード	売却	2,986	牛乳パック
	ダンボール		403		ダンボール						
	白色の食品 トレイ		4		白色の食品 トレイ						
	新聞		1,449		新聞						
	雑誌・ その他紙		588		雑誌・ その他紙						

イ．事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

家庭系一般廃棄物の分別区分に準じて処理を行っており、今後も適正処理を行う。

ウ．一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現状は、産業廃棄物の処理は行っていない。今後とも行う予定はない。

エ．生活排水処理の現状と今後

公共下水道認可計画区域においては、面的整備を推進するとともに、未接続世帯の接続を促進する。

その他の地域については、合併処理浄化槽による生活排水処理率の向上を図る。そのために今後、浄化槽設置整備事業、浄化槽市町村整備推進事業について検討を行っていく。

また老朽化しているし尿処理施設については、施設整備を推進する。

オ．今後の処理体制の要点

平成 25 年度末までに現有のし尿処理施設を汚泥再生処理センターとして更新し、汚泥の再資源化を図る。

また、同施設の更新後は、上野原市及び道志村のし尿も受け入れて処理す

ることとしている。(当面の間は両市村から受託処理し、将来的には両市村とも当組合に加入する方向で調整している。)

(3) 処理施設等の整備

上記(2)のし尿処理広域化後の処理体制で処理を行うため、次表のとおり処理施設の整備を行う。

ア．廃棄物処理施設

[表-4] 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	有機性廃棄物 リサイクル推進施設 (汚泥再生処理センター)	大月都留広域事務組合 汚泥再生処理センター 整備事業(仮称)	99k /日	山梨県都留市 田野倉1130番地	H23～25

(整備理由)

事業番号 1 し尿処理施設の老朽化対策
し尿処理施設の広域化
し尿処理汚泥の再生利用促進

イ．合併処理浄化槽の整備

大月市

合併処理浄化槽の整備については、[表-5]のとおり行います。

[表-5] 合併処理浄化槽への移行計画

事業	直近の整備済 基数(基) (平成21年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
浄化槽設置整備事業	627	300	810	H23～H27
浄化槽市町村整備推進事業	0	0	0	
その他地方単独事業	0	0	0	
合計	627	300	810	

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、[表-6]のとおり計画支援事業を行う。

[表-6] 計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	汚泥再生処理センター整備事業に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H22年度～H23年度
	汚泥再生処理センター整備事業に係る測量等調査事業	測量、地質調査 都市計画変更資料作成	H22年度～H23年度
	汚泥再生処理センター整備事業に係る入札用図書作成事業	見積発注仕様書 見積設計図書技術審査 入札用図書作成	H22年度～H23年度

(5) その他の施策

ア．災害時の廃棄物処理に関する事項

災害発生時には、本地域における一時的かつ急激な廃棄物の増加及び広域支援体制に基づく災害廃棄物処理に関する応援要請が予想されることから、これらに円滑な対応が可能な処理計画について検討を行っていく。なお、災害廃棄物の迅速かつ適正な処理を行うため、具体的な収集、運搬、臨時集積地の選定などについては、組合構成市の防災計画における災害廃棄物処理計画において定めるものとする。

4．計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本組合では、毎年度計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、国及び山梨県と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事業評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果を取りまとめた時点で、速やかに、計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直し、次期計画策定に反映させるものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 22 年度)

1 地域の概要

(1)地域名	大月、都留地域	(2)地域内人口	60,857人	(3)地域面積	441.88 Km ²
(4)構成市町村等名	大月市、都留市	(5)地域の要件*	人口 (面積) 沖縄 離島 奄美 豪雪 (山村) 半島 過疎 その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 設立されていない場合、今後の見通し：	設立(予定)年月日： 昭和40年 7月 1日(設立) 認可予定			

* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状(排出量に対する割合)						目標
		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成27年度
排出量	事業系 総排出量(トン)	2,965	3,247	3,521	3,908	4,012	3,985	3,224 (H19比 -19.1%)
	1事業所当たりの排出量(ト/事業所)	0.71	0.81	0.91	1.01	1.04	1.04	0.90
	家庭系 総排出量(トン)	19,948	20,469	22,036	24,085	19,767	19,116	17,989 (H19比 - 5.9%)
	合計 1人当たりの排出量(kg/人) 事業系家庭系排出量合計(トン)	291 22,913	300 23,716	326 25,557	361 27,993	299 23,779	248 23,101	245 21,213 (H19比 - 8.2%)
再生利用量	直接資源化量(トン)	1,449 (6.3%)	3,371 (14.2%)	3,335 (13.0%)	3,159 (11.3%)	3,000 (12.6%)	2,912 (12.6%)	2,986 (14.1%)
	総資源化量(トン)	2,439 (10.6%)	4,407 (18.6%)	4,427 (17.3%)	4,147 (14.8%)	4,051 (17.0%)	3,891 (16.8%)	5,712 (26.9%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)	-	-	-	-	-	-	-
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	17,701 (77.3%)	16,660 (70.2%)	18,507 (72.4%)	20,679 (73.9%)	17,247 (72.5%)	16,636 (72.0%)	13,512 (63.7%)
最終処分量	埋立最終処分量(トン)	2,773 (12.1%)	2,649 (11.2%)	2,623 (10.3%)	3,167 (11.3%)	2,481 (10.4%)	2,574 (11.1%)	1,989 (9.4%)

別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

3 一般廃棄物処理施設の現状と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
し尿処理施設	組合	定希釈二段活性汚泥処理方式	有	90(k /日)	昭和62年4月	平成26年4月	施設更新による廃止				
汚泥再生処理センター	組合						施設老朽化等		平成26年3月	99(k /日)	

計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付する。

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状						目標	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成27年度	
総人口	31,609	31,103	30,714	30,100	29,987	29,517	27,234	
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1,221 (3.9)	1,591 (5.1)	1,975 (6.4)	2,328 (7.7)	2,419 (8.0)	2,576 (8.7)	4,520 (16.6)
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	5,442 (17.2)	5,940 (19.1)	6,226 (20.3)	6,748 (22.4)	6,802 (22.7)	5,189 (17.6)	5,519 (20.3)
未処理人口	汚水衛生未処理人口	24,946	23,572	22,513	21,024	20,766	21,752	17,195

別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付のこと。(別紙参考を参照)

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	大月市	627基	5,189人	H9.4.	300基	810人	平成27年	

計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付のこと。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成22年度)

事業種別	事業番号	事業主体名	事業主体 構成市町村名	規模	事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
					開始	終了	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度			
再生利用に関する事業							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
容器包装リサイクル推進施設							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
分別回収拠点整備							0												
小規模ストックヤード整備							0												
簡易プレス機整備							0												
ごみ収集車整備							0												
生ごみリサイクル施設							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ごみ高速たい肥化施設整備							0												
ごみ飼料化施設整備							0												
ごみメタン回収施設整備							0												
リサイクルセンター							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資源ごみ選別施設整備							0												
破碎・選別施設整備							0												
不要品再生施設整備							0												
展示施設整備							0												
廃棄物原材料化施設整備							0												
ごみ固形燃料化施設整備							0												
ストックヤード整備							0												
その他の施設整備等(施設名記載)							0												
熱回収等に関する事業							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熱回収施設整備							0												
灰溶融施設整備							0												
その他の施設整備等(施設名記載)							0												
最終処分に関する事業							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
最終処分場設置							0												
不適正最終処分場再生							0												
収集運搬の最適化に関する事業							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃棄物運搬中継・中間処理施設整備							0												
その他の施設整備等(施設名記載)							0												
併せ産廃モデル施設整備に関する事業							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
併せ産廃モデル施設整備							0												
し尿処理に関する事業							3,384,993	0	20,361	723,970	2,372,533	268,129	2,674,859	0	14,813	723,970	1,936,076	0	
汚泥再生処理センター整備	1	大月郡留広域事務組合	大月市、都留市	99k / 日	H.23	H.25	3,384,993		20,361	723,970	2,372,533	268,129	2,674,859		14,813	723,970	1,936,076		
し尿・浄化槽汚泥高度処理施設整備							0												
コミュニティプラント整備							0												
浄化槽に関する事業							118,010	23,602	23,602	23,602	23,602	23,602	118,010	23,602	23,602	23,602	23,602	23,602	
浄化槽設置整備	3	大月市	大月市				118,010	23,602	23,602	23,602	23,602	23,602	118,010	23,602	23,602	23,602	23,602	23,602	
浄化槽市町村整備推進							0						0						
施設整備に関する計画支援に関する事業	31	大月郡留広域事務組合	大月市、都留市		H.22	H.23	26,000	17,200	8,800				26,000	17,200	8,800				
合計							3,529,003	40,802	52,763	747,572	2,396,135	291,731	2,818,869	40,802	47,215	747,572	1,959,678	23,602	

1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること、また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。
 2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。
 3 実施しない事業の欄は削除して構わない。
 4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみの有効利用	生ごみの堆肥化	構成市	平成20	継続							
	12	ゼロエミッションの推進	ごみの減量	構成市	平成20	継続							
	13	ごみ問題への意識向上	家庭における環境教育 環境家計簿の普及等	構成市	平成20	継続							
	14	環境にやさしい生活スタイルの確立	グリーンコンシューマー活動 エコアクション・ポイント制度	構成市	平成20	継続							
	15	生活雑排水対策に関する普及啓発	水切袋の使用等、生活雑排水対策に関する普及啓発を行う。	大月市	平成18	継続		普及啓発の実施					
	16	浄化槽の適正な維持管理の指導	浄化槽の維持管理について、保守点検等の維持管理を適正に実施するよう指導する。	大月市	平成18	継続		浄化槽の適正な維持管理の指導					
	17	単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換推進	合併処理浄化槽の普及及び単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換を促進する	大月市	平成18	継続		合併処理浄化槽への転換					
処理体制の構築、変更に関するもの	21	施設の統合による処理体制の変更	組合構成外の上野原市、道志村のし尿等を組合で受託処理する。	組合	平成26	継続						受託	関連事業1及び31
処理施設の整備に関するもの	1	汚泥再生処理センター整備事業	し尿処理汚泥の再生促進	組合	平成23	平成25		工事、施工監理					
	2	現有し尿処理施設撤去	施設撤去工事	組合	平成26	平成26						工事、施工監理	
	3	浄化槽整備	合併処理浄化槽を整備し、衛生的な循環水処理システムを推進する。	大月市	平成18	継続		設置、整備					
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	汚泥再生処理センター整備事業に係る計画支援事業	生活環境影響調査	組合	平成22	平成23		_____					
		測量等調査	組合	平成22	平成23		_____						
		入札用図書作成	組合	平成22	平成23		_____						
その他													

1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 山梨県

(1) 事業主体名	大月都留広域事務組合
(2) 施設名称	大月都留広域事務組合 汚泥再生処理センター
(3) 工期	平成23年度 ~ 平成25年度
(4) 施設規模	処理能力 99k /日
(5) 形式及び処理方式	標準脱窒素処理方式 + 高度処理
(6) 地域計画内の役割	し尿、浄化槽汚泥の衛生処理による住環境、自然環境の保全 汚泥の再生利用促進
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	汚泥の堆肥化
(9) 資源化物の利用計画	農地還元

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	人口	人
	面積	m ²
(11) 計画地域の性格		
(12) 事業計画額	3,384,993,000円	

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 山梨県

(1) 事業主体名	大月市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽を設置する者に対して、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、当該補助金の交付に関しては、大月市補助金等交付規程に定めももののほか、大月市浄化槽設置事業補助金交付要綱により実施する。
(4) 事業期間	H 2 3 年度～ H 2 7 年度
(5) 事業対象地域の要件	大月市浄化槽設置事業補助金交付要綱第3条により、市内全域とする。ただし、下水道法第4条第1項の規定により事業計画の認可を受けた区域は、補助対象地域から除くものとする。
(6) 事業計画額	交付対象事業費 118,010千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

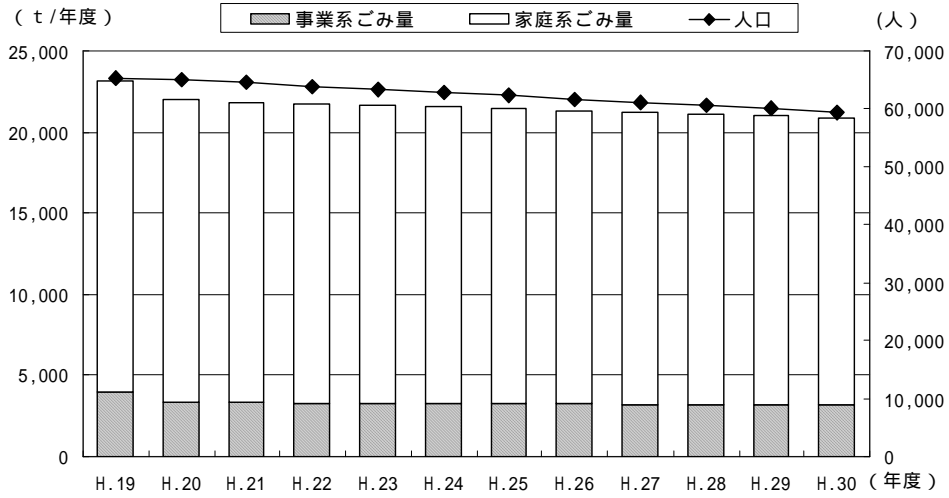
【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	100基(270人分)	基	33,200	33,200	33,200
6～7人槽	185基(500人分)	基	76,590	76,590	76,590
8～10人槽	15基(40人分)	基	8,220	8,220	8,220
11～20人槽	基(人分)	基			
21～30人槽	基(人分)	基			
31～50人槽	基(人分)	基			
51人槽以上	基(人分)	基			
改築	基				
計画策定調査費					
合計	300基(810人分) 改築を除く	基	118,010	118,010	118,010

計画支援概要

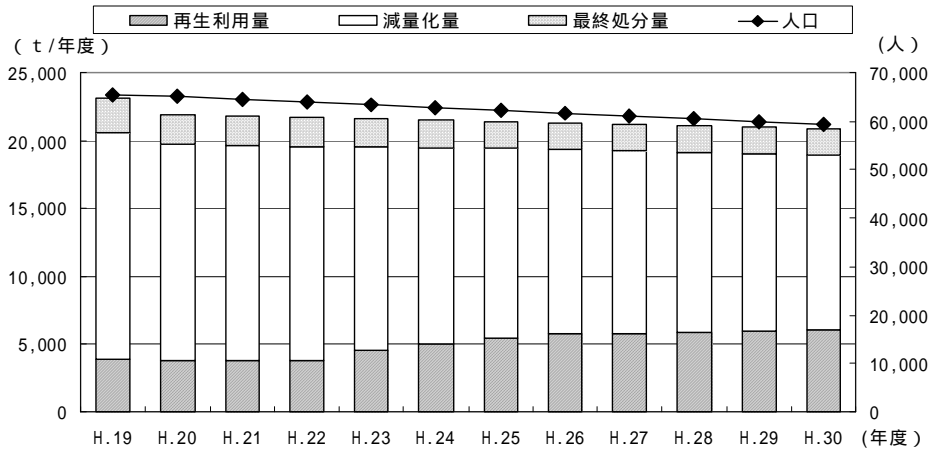
都道府県名 山梨県

(1) 事業主体名	大月都留広域事務組合		
(2) 事業目的	有機性廃棄物リサイクル推進 _____ 施設整備のため		
(3) 事業名称	汚泥再生処理センター整備事業に係る生活環境影響調査事業	汚泥再生処理センター整備事業に係る測量等調査業務	汚泥再生処理センター整備事業に係る入札用図書作成業務
(4) 事業期間	平成22年度 ~ 平成23年度	平成22年度 ~ 平成23年度	平成22年度 ~ 平成23年度
(5) 事業概要	生活環境影響調査	測量、地質調査 都市計画変更資料作成	見積発注仕様書作成 見積設計図書技術審査 入札用図書作成
(6) 事業計画額	11,000,000 円	8,000,000 円	7,000,000 円



平成19年度は実績、20年度以降は目標

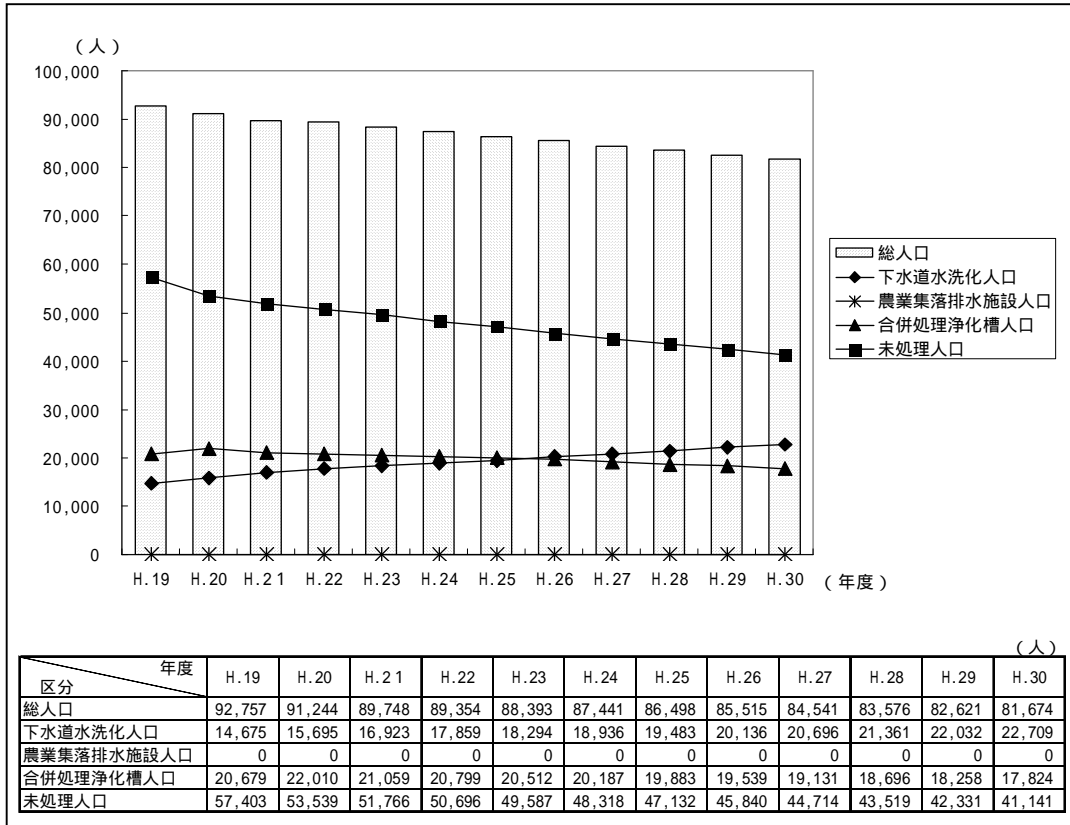
区分 \ 年度	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30
人口(人)	65,361	65,016	64,453	63,892	63,333	62,775	62,220	61,668	61,117	60,570	60,025	59,482
総排出量 (t/年度)	23,101	21,961	21,856	21,750	21,645	21,537	21,431	21,321	21,213	21,104	20,986	20,876
事業系ごみ量 (t/年度)	3,985	3,338	3,322	3,306	3,290	3,274	3,258	3,241	3,224	3,208	3,190	3,173
家庭系ごみ量 (t/年度)	19,116	18,623	18,534	18,444	18,355	18,263	18,173	18,080	17,989	17,896	17,796	17,703



平成19年度は実績、20年度以降は目標

区分 \ 年度	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30
人口(人)	65,361	65,016	64,453	63,892	63,333	62,775	62,220	61,668	61,117	60,570	60,025	59,482
総排出量 (t/年度)	23,101	21,961	21,856	21,750	21,645	21,537	21,431	21,321	21,213	21,104	20,986	20,876
再生利用量 (t/年度)	3,891	3,830	3,802	3,773	4,559	5,012	5,464	5,712	5,712	5,834	5,955	6,073
減量化量 (t/年度)	16,636	15,898	15,831	15,764	14,950	14,439	13,931	13,620	13,512	13,305	13,088	12,883
最終処分量 (t/年度)	2,574	2,233	2,223	2,213	2,136	2,086	2,036	1,989	1,989	1,965	1,943	1,920

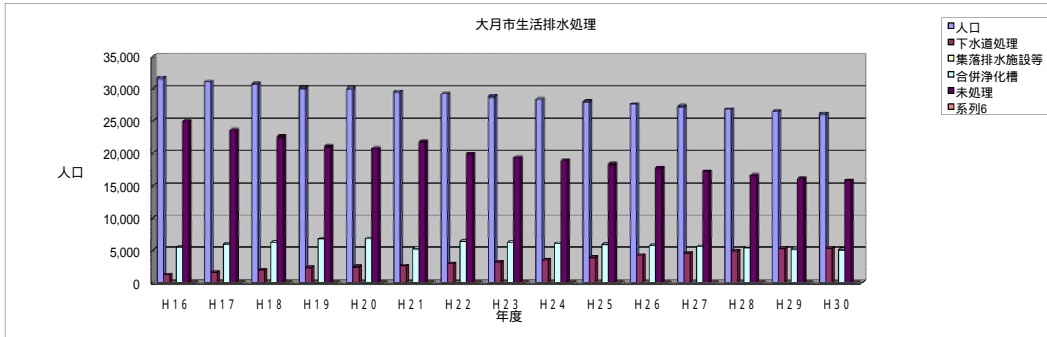
[資料図-1] 指標と人口との要因に関するトレンドグラフ (ごみ処理)



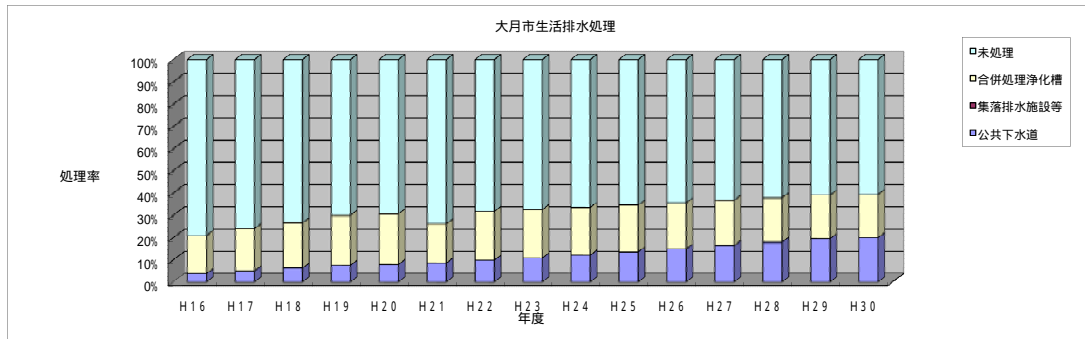
[資料図-2] 指標と人口との要因に関するトレンドグラフ (生活排水処理)

[資料図 - 2 - 1] 指標と人口との要因に関するトレンドグラフ 大月市

指標	年度 単位	実績						将来予測									
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
総人口	人	31,609	31,103	30,714	30,100	29,987	29,517	29,160	28,772	28,385	28,000	27,616	27,234	26,854	26,476	26,099	
公共下水道	人	1,221	1,591	1,975	2,328	2,419	2,576	2,910	3,160	3,480	3,830	4,170	4,520	4,870	5,220	5,260	
集落排水施設等	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合併処理浄化槽	人	5,442	5,940	6,226	6,748	6,802	5,189	6,378	6,224	6,052	5,873	5,697	5,519	5,342	5,165	5,064	
未処理人口	人	24,946	23,572	22,513	21,024	20,766	21,752	19,872	19,388	18,853	18,297	17,749	17,195	16,642	16,091	15,775	
汚水衛生処理率	%	21.1%	24.2%	26.7%	30.2%	30.7%	26.3%	31.9%	32.6%	33.6%	34.7%	35.7%	36.9%	38.0%	39.2%	39.6%	



指標	年度 単位	実績						将来予測									
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
公共下水道	人	1,221	1,591	1,975	2,328	2,419	2,576	2,910	3,160	3,480	3,830	4,170	4,520	4,870	5,220	5,260	
集落排水施設等	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合併処理浄化槽	人	5,442	5,940	6,226	6,748	6,802	5,189	6,378	6,224	6,052	5,873	5,697	5,519	5,342	5,165	5,064	
未処理人口	人	24,946	23,572	22,513	21,024	20,766	21,752	19,872	19,388	18,853	18,297	17,749	17,195	16,642	16,091	15,775	
総人口	人	31,609	31,103	30,714	30,100	29,987	29,517	29,160	28,772	28,385	28,000	27,616	27,234	26,854	26,476	26,099	
汚水衛生処理率	%	21.1%	24.2%	26.7%	30.2%	30.7%	26.3%	31.9%	32.6%	33.6%	34.7%	35.7%	36.9%	38.0%	39.2%	39.6%	



[参考]

現行ごみ処理施設の概要

1. 本組合の施設

名 称	まるたの森クリーンセンター
施設所管	大月都留広域事務組合
所在地	山梨県大月市初狩町中初狩 3274 番地
処理能力	104 t / 日 (2 炉) リサイクル施設 31 t / 日
処理方式	全連式ストーカ + 灰溶融
竣工年度	平成 14 年度

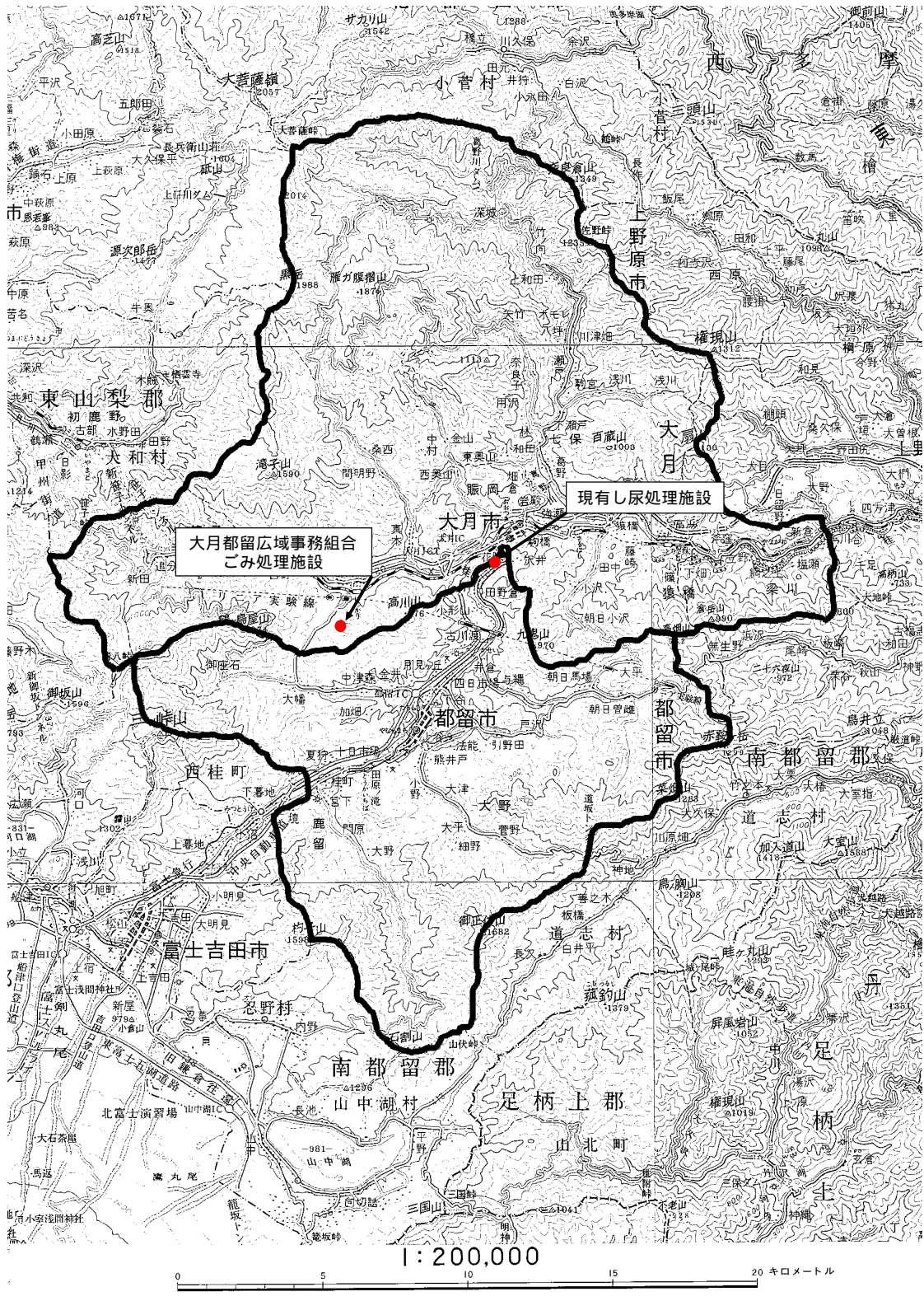
現行し尿処理施設の概要

1. 本組合の施設

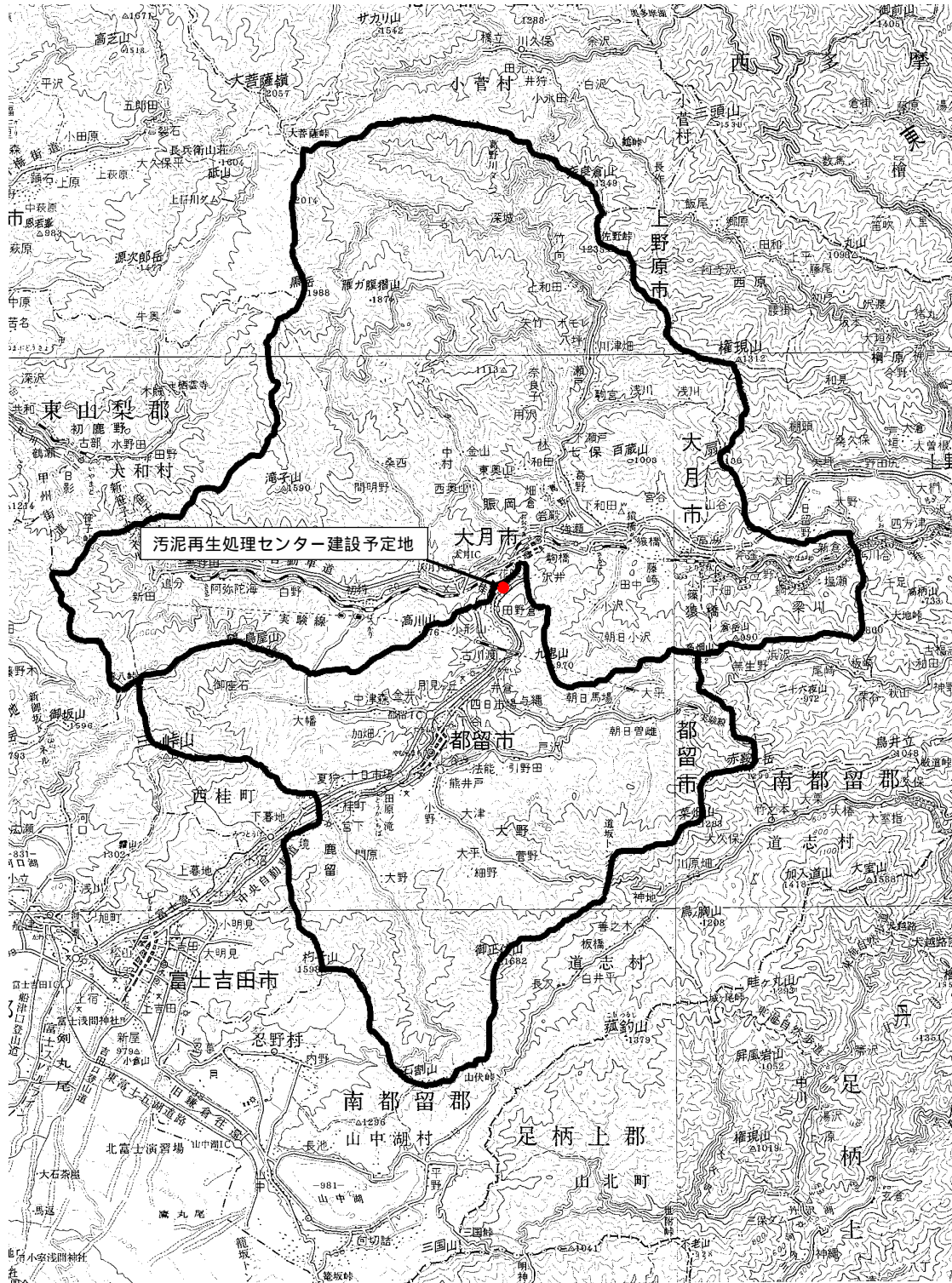
名 称	大月都留広域事務組合 し尿処理施設
施設所管	大月都留広域事務組合
所在地	山梨県都留市田野倉 1130 番地
処理能力	90k / 日
処理方式	低希釈二段活性汚泥法 + 高度処理
竣工年度	昭和 61 年度

2. 上野原市 (処理受託予定) の施設

名 称	上野原市クリーンセンター
施設所管	上野原市
所在地	山梨県上野原市上野原 8344 番地
処理能力	40k / 日
処理方式	好気性消化処理方式
竣工年度	昭和 53 年度



位置図 (現況)



位置図 (予定)

